

(19) 日本国特許庁 (J P)

(12) 公開特許公報 (A)

(11) 特許出願公開番号

特開平11-164058

(43) 公開日 平成11年(1999) 6月18日

(51) Int.Cl.<sup>6</sup>

識別記号

F I

H 0 4 M 11/08

H 0 4 M 11/08

H 0 4 B 7/24

H 0 4 B 7/24

C

H 0 4 M 3/42

H 0 4 M 3/42

Z

審査請求 有 請求項の数 4 O L (全 5 頁)

(21) 出願番号

特願平9-324660

(22) 出願日

平成9年(1997)11月26日

(71) 出願人 000233491

日立電子サービス株式会社

神奈川県横浜市戸塚区品濃町504番地2

(72) 発明者 佐藤 登

神奈川県横浜市戸塚区品濃町504番地2

日立電子サービス株式会社内

(72) 発明者 山岸 令和

神奈川県横浜市戸塚区品濃町504番地2

日立電子サービス株式会社内

(72) 発明者 武貞 陸治

神奈川県横浜市戸塚区品濃町504番地2

日立電子サービス株式会社内

(74) 代理人 弁理士 沼形 義彰 (外3名)

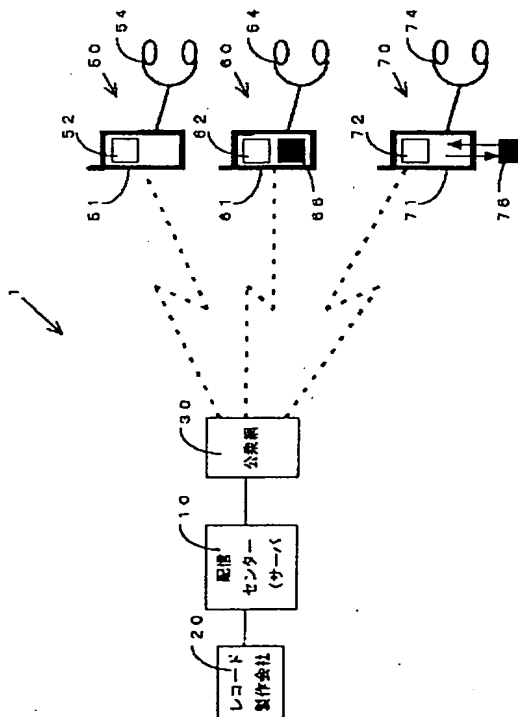
最終頁に続く

(54) 【発明の名称】 携帯型音楽選曲視聴システム

(57) 【要約】

【課題】 携帯電話機を利用してユーザが選曲する音楽のソフトを提供するシステムを提供する。

【解決手段】 サーバ機能を有する配信センター10は、レコード製作会社20から音楽ソフトの提供を受ける。配信センター10に対して公衆回線網30を介して接続される携帯用音楽選曲視聴機50は、ボタン入力部を有する本体51と、本体51に設けられるディスプレイ52と、音楽用レシーバ54を有し、ユーザが選曲して音楽ソフトを配信センターに要求し、受信した音楽ソフトの音声をレシーバ54に出力するとともに、歌詞等をディスプレイ52に出力する。



## 【特許請求の範囲】

【請求項 1】 音楽ソフトを製作するレコード会社と、レコード会社から音楽の提供を受けるサーバー機能を有する配信センターと、公衆回線網を介して配信センターに接続される携帯型音楽選曲視聴機とを備え、携帯型音楽選曲視聴機は、入力された選曲情報を公衆回線網を介して配信センターに伝達し、配信センターから送られてくる音楽ソフトを音声と文字情報として出力する手段を備える携帯型音楽選曲視聴システム。

【請求項 2】 携帯型音楽選曲視聴機は、電源部と、総合制御部と、電話番号登録用記憶部と、ボタン入力部と、ディスプレイ表示部と、送話・受話制御部と、送話器および受話器と、電波送受信制御部と、アンテナと、音楽用制御部と、音楽用増幅部と、音楽用レシーバを備える請求項 1 記載の携帯型音楽選曲視聴システム。

【請求項 3】 携帯型音楽選曲視聴機は、受信した音楽ソフトを記憶する音楽用記憶部を備える請求項 2 記載の携帯型音楽選曲視聴システム。

【請求項 4】 携帯型音楽選曲視聴機は、音楽ソフトを記憶する着脱自在の音楽用記憶媒体を備える請求項 2 および請求項 3 記載の携帯型音楽選曲視聴システム。

## 【発明の詳細な説明】

## 【0001】

【発明の属する技術分野】本発明は、携帯型の電話機を用いた音楽の配信システムに関する。

## 【0002】

【従来の技術】例えば、携帯型のラジオやテレビを利用して、地上局やサテライトからの放送電波を受信して音楽ソフトを楽しむことができる。この放送電波の受信は、放送局からの一方通行のサービスであって、ユーザが選曲することはできない。また、通信カラオケシステム等にあつては、有線回線を利用してユーザが選曲した音楽をセンターに要求し、サービスを受けることができる。

## 【0003】

【発明が解決しようとする課題】携帯型の電話システムの普及に伴い、ユーザに対して電話サービスの他にも各種のサービスを提供することが可能となっている。本発明は、無線の公衆回線網を利用する音楽選曲視聴システムを提供するものである。

## 【0004】

【課題を解決するための手段】本発明の音楽選曲視聴システムは、基本的な手段として、音楽ソフトを製作するレコード会社と、レコード会社から音楽の提供を受けるサーバー機能を有する配信センターと、公衆回線網を介して配信センターに接続される携帯型音楽選曲視聴機とを備える。そして、携帯型音楽選曲視聴機は、入力された選曲情報を公衆回線網を介して配信センターに伝達し、配信センターから送られてくる音楽ソフトを音声と文字情報として出力する手段を備えるものである。ま

た、携帯型音楽選曲視聴機は、具体的な手段として、電源部と、総合制御部と、電話番号登録用記憶部と、ボタン入力部と、ディスプレイ表示部と、送話・受話制御部と、送話器および受話器と、電波送受信制御部と、アンテナと、音楽用制御部と、音楽用増幅部と、音楽用レシーバを備える。さらに、携帯型音楽選曲視聴機は、受信した音楽ソフトを記憶する音楽用記憶部を備えるか、または、音楽ソフトを記憶する着脱自在の音楽用記憶媒体を備えることができる。

## 【0005】

【発明の実施の形態】図 1 は、本発明の携帯型音楽選曲視聴システムの全体構成図である。全体を符号 1 で示すシステムは、サーバーである配信センター 10 を有し、配信センター 10 はレコード製作会社 20 から音楽コンテンツの供給を受ける。この配信センター 10 に対して、公衆回線網 30 を介して携帯型音楽選曲視聴機 50、60、70 が接続される。

【0006】携帯型音楽選曲視聴機 50 は、例えば携帯電話機と同様の構造を有し、本体 51 に必要なプッシュボタン等と、ディスプレイ 52 を装備する。本体 51 に対してはレシーバ 54 が接続される。携帯型音楽選曲視聴機 50 を有するユーザは、本体 51 上のプッシュボタン等を操作して公衆回線網 30 を経由して配信センター 10 を呼び出し、希望する音楽ソフトを公衆回線網 30 を介して受信する。受信した音楽ソフトは、携帯型音楽選曲視聴機 50 の本体 51 内に装備されたアンプで増幅され、レシーバ 54 に出力される。

【0007】レシーバ 54 を装着したユーザは、音楽を楽しむとともに、必要に応じてディスプレイ 52 に歌詞を表示して、カラオケとしても楽しむことができる。この携帯型音楽選曲視聴機 50 は、メモリ機能等を備えない簡素化されたものであつて、回線接続中のみ音楽の供給を受けることができる。

【0008】携帯型音楽選曲視聴機 60 は、本体 61 内に記憶装置 66 を内蔵するモデルを示す。このモデルの携帯型音楽選曲視聴機 60 にあつては、本体 61 のプッシュボタン等を操作して配信センター 10 を呼び出して、供給を受けた音楽ソフトは、レシーバ 64 とディスプレイ 62 に出力されるとともに、記憶装置 66 により記憶される。したがって、ユーザは公衆回線 30 の接続を遮断した後にも、記憶装置 66 内の音楽ソフトを再生させて楽しむことができる。

【0009】携帯型音楽選曲視聴機 70 は、本体 71 に対して着脱可能な記憶装置 76 を備える。この記憶装置 76 は、例えば磁気カード、磁気テープ、CD、DVD、IC カードのようなメモリカードである。ユーザは、本体 71 のプッシュボタン等を操作して、携帯型音楽選曲視聴機 70 の記憶装置（媒体）76 に音楽ソフトをダウンロードすると、この音楽ソフトを携帯型音楽選曲視聴機 70 のディスプレイ 72 やレシーバ 74 で楽し

むことができるとともに、この記憶装置（媒体）を抜き出して、他のオーディオユニットに挿入し、より高品質な再生音楽を楽しむことができる。また、他のオーディオユニットで記憶装置 76 内に音楽ソフトを記憶させ、この記憶装置 76 を、この携帯型音楽選曲視聴機 70 に挿入して音楽を楽しむこともできる。

【0010】図 2 は、携帯電話の機能を有する本発明の携帯型音楽選曲視聴機の構成図である。全体を符号 100 で示す携帯型音楽選曲視聴機は、電源部 130 に接続される総合制御部 110 を有し、総合制御部 110 は電話番号登録用記憶部 120 が接続される。ユーザが操作するボタン入力部 182 を有するボタン入力制御部 180 は、総合制御部 110 に信号を送り、総合制御部 110 は、ディスプレイ制御部 160 を介してディスプレイ表示部 162 に操作内容を表示するとともに、電波送受信制御部 140、アンテナ 150 を介して公衆回線網にアクセスする。ユーザが相手の電話を呼び出すのであれば、交換機は相手電話を呼び出し、送話・受話制御部 170 に接続される送話器 174 と受話器 172 を用いてユーザは相手と通話することができる。

【0011】音楽用制御部 200 は、総合制御部 110、電源部 130、電波送受信制御部 140、ボタン入力制御部 180、ディスプレイ制御部 160 に接続される。ユーザは、ボタン入力部 182 を操作して配信センターを呼び出す指令を出力すると、その内容はディスプレイ表示部 162 に表示されるとともに、電波送受信制御部 140 は、アンテナ 150 を介して公衆回線網を経由して配信センターにアクセスする。

【0012】配信センターにアクセスができると、ユーザは選曲を指令し、配信センターは選曲された音楽ソフトを送り返す。この音楽ソフトを受信した音楽用制御部 200 は、音楽用増幅部で信号を増幅し、レシーバジャック 220 に差し込まれる音楽用レシーバ 230 に音声出力する。この音声出力は、受話器 172 へも出力することができる。歌詞等の情報は、ディスプレイ表示部 162 に表示される。

【0013】音楽用制御部 200 に接続される音楽用記

憶部 240 は、音楽ソフトを記憶する。磁気カード、磁気テープ、CD、DVD、IC カードのようなメモリカードのような音楽用記憶媒体 250 は、音楽ソフトを記憶するとともに、この記憶媒体 250 を取り出して、他のオーディオユニット等で使用することもできる。

【0014】図 3 は、本発明のシステムによる処理のフロー図である。ステップ S10 では、レコード製作会社 20 から配信センター 10 へ、曲・歌詞・画像の登録

（変更・削除）を行う。ステップ S11 では、ユーザは携帯型音楽選曲視聴機のディスプレイとプッシュボタンで、曲名・歌手名・ジャンル・曲名 No.・作曲家名等を選択できる。ステップ S12 は、選曲した曲と歌詞・画像を配信センターからユーザに回線を通して送信する。

【0015】ステップ S13 は、ユーザのレシーバから音声、ディスプレイに歌詞と画像を表示する。記憶装置付きの場合は記録し、通話終了後も再生可能とする。ステップ S14 は、配信センターから送信が終了したら課金処理を行う。課金処理については NTT の Q2 方式に準拠して行う。ステップ S15 では、記憶装置から再生中に電話着信があったら、割り込みの通知または表示を行なう。

【0016】

【発明の効果】本発明は以上のように、携帯電話機を利用してユーザが選曲した音楽ソフトを楽しむことができるので、公衆回線網の利用も拡大され、サービスも向上するものである。

【図面の簡単な説明】

【図 1】本発明の携帯型音楽選曲視聴システムの構成図。

【図 2】本発明の携帯用音楽選曲視聴機の構成図。

【図 3】本発明の携帯型音楽選曲視聴システムのフロー図。

【符号の説明】

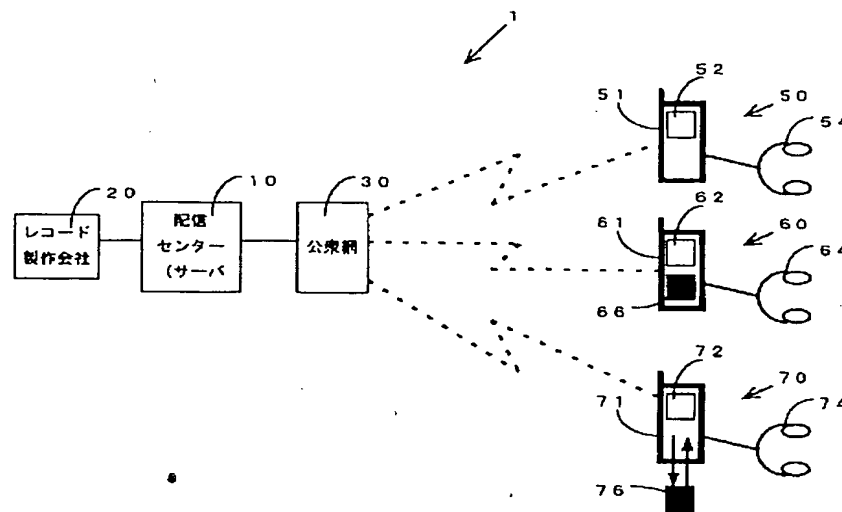
10 配信センター

20 レコード製作会社

30 公衆回線網

50, 60, 70 携帯用音楽選曲視聴機

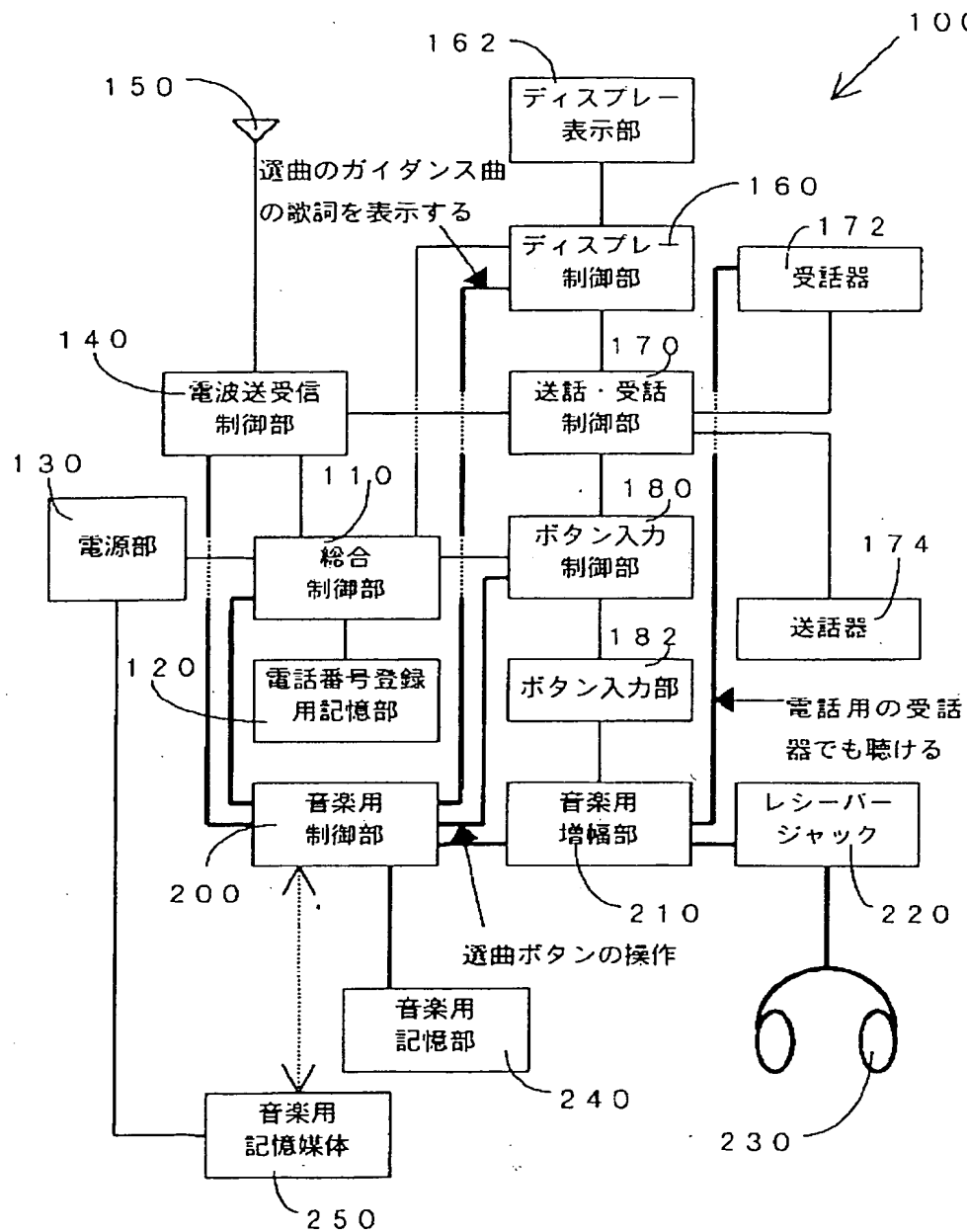
【図 1】



【図 3】

- S 1 0 レコード制作会社 20 から配信センター 10 へ、曲・歌詞・画像の登録（変更・削除）を行う。
- S 1 1 ユーザの携帯型音楽選曲視聴機から配信センターを呼び出し、選曲する。（携帯型音楽選曲視聴機のディスプレイとプッシュボタンで、曲名・歌手名・ジャンル・曲名 No.・作曲家名等を選択できる。）
- S 1 2 選択した曲と歌詞・画像を配信センターからユーザの携帯型音楽選曲視聴機に回線を通して送信する。
- S 1 3 ユーザの携帯型音楽選曲視聴機のレシーバから音声、ディスプレイに歌詞と画像を表示する。記憶装置付きの場合は記録し、通話終了後も再生可能とする。
- S 1 4 配信センターから送信が終了したら課金処理を行う。課金処理については N T T の Q 2 方式に準拠して行う。
- S 1 5 記憶装置から再生中に電話着信があったら、割り込みの通知または表示をする。

【図2】



フロントページの続き

(72)発明者 岩崎 美奈  
 神奈川県横浜市戸塚区品濃町504番地2  
 日立電子サービス株式会社内